

災害復旧

災害復旧の実績

非常事態が発生して広範囲でガス供給停止になった場合、被害地域のガス事業者だけでなく、全国各地のガス事業者による復旧応援隊も加わりできるだけ早い復旧を目指して復旧活動をしています。当社も東海地方のみではなく、過去に全国各地で発生した大地震の際は、東邦ガス復旧応援隊の一員として復旧支援活動に参加しました。

宮城県沖地震

昭和53年6月12日宮城県沖を震源地とする最大震度5マグニチュード7.4の地震が発生。ガス復旧の応援に延べ1080名を派遣しました。

釧路沖地震

平成5年1月15日北海道釧路市南方沖を震源地とするマグニチュード7.5の地震が発生。ガス復旧の応援に延べ155名を派遣しました。



阪神・淡路大震災

平成7年1月17日、淡路島北部を震源とした、マグニチュード7.2の都市直下型地震「阪神・淡路大震災」が神戸市を中心に壊滅的な被害をもたらしました。当社からは268名が復旧工事に従事し、延人数は7,300名近くにも達しました



新潟県中越沖地震

平成19年7月16日新潟県中越地方沖を震源地とするマグニチュード6.8の地震が発生。ガス復旧の応援に延べ244名を派遣しました。



東日本大震災

平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、ガス復旧の応援に延べ1539名を派遣しました。ライフラインの復旧として、社団法人日本ガス協会災害対策本部のもと、東邦ガスとともに仙台復旧対策隊(仙台ガス局)の一員として、3月24日早朝から15時間をかけて陸路現地入りを行いました。雪の降る日も多く、寒さ厳しい中での作業でしたが、派遣されたメンバーは誰もがガスマンの責務を胸に、一日も早い復旧に向け、全力を挙げて取り組みました。



熊本地震

平成28年4月14日午後9時26分熊本県熊本地方を震源地とする最大震度7マグニチュード6.5の地震が発生。ガス復旧の応援に延べ346名を派遣しました。熊本地方を襲った地震によるガス復旧作業を行うために、当社は本管部隊1組、漏洩修理部隊1組、供内管部隊7組の復旧応援隊を組織し、熊本市内のガス復旧工事を担当しました。導管損傷も少なかったことや、応援隊に携わった方々の懸命な取り組みのおかげで、復旧作業は順調に進み、4月末にはすべての作業を完了させ、全員無事に名古屋へ帰ることが出来ました。

『常に変化する現場の中でも、被災者の方々の気持ちを最優先に』

熊本地震当社復旧応援隊隊長 岩崎 孝哉チーフ

山田商会の復旧応援隊をまとめることに、大変なプレッシャーも感じつつ戸惑いながらも、なんとか無事復旧作業を完遂することができました。現地滞在中は隊長として、難しい決断の連続でしたが、今回派遣された当社隊員の皆さん達の士気は非常に高く、刻々と変化する現場の状況にありながらも、復旧作業は正確かつ迅速でしたので、本当に助かりました。

現場では被災者の方々の心情を、なによりも配慮しつつ、私達隊員の身の安全も確保するように努めました。

このような災害復旧作業に従事したことで、私自身が入社以来取り組んでいたガス工事という仕事は、社会のインフラを直接支えている仕事なのだという事を再認識し、今後も自分達の仕事に誇りと充実感をもって、取り組みたいと思います。

